

第5章. 持続可能な地域公共交通網の実現に向けた課題の把握

ここでは、「第2章. 公共交通に関する現況把握」、「第4章. 市民ニーズの把握」を踏まえ、持続可能な地域公共交通網の実現に向けた課題を整理しました。

< 持続可能な地域公共交通網の実現に向けた課題 >

1.公共交通と自家用車との適切な役割分担・最適化

公共交通ネットワークは一定のレベルで整備されていますが、自動車の分担率増加や道路混雑状況の悪化などにより、重複路線の最適化を図るなど、公共交通と自家用車との適切な役割分担が求められます。

2.駅・港・空港など広域交通拠点と都市内交通の連携

本市は、新潟駅、新潟港、新潟空港と充実した広域交通拠点を有しており、さらなる交流人口拡大に繋げるため、都市内交通との連携を強化した公共交通ネットワークの構築が求められます。

3.都心部における多様な手段による回遊性向上

都心部では、高い頻度で公共交通が運行されていますが、歩行者通行量が減少傾向にあり、多様な手段における回遊性向上が求められます。

4.様々なライフステージの移動ニーズに応じた生活交通の確保

市民の約8割が「自動車に頼らなくては移動しにくいまち」と感じていることから、様々なライフステージや地域別の移動ニーズに応じた生活交通ネットワークの確保が求められ、生活交通の基盤となる、区バス・住民バスにおいては、今後のさらなる少子・超高齢化の進展を見据え、市民ニーズに対応した持続性の確保が求められます。

5.公共交通の利便性向上と自家用車からの転換促進

公共交通を今後利用したいと考える市民の割合は高いが、全市的なバス路線再編に伴い、乗り換え負担が生じていることなどから市民満足度が低い状況にあり、公共交通の利便性を向上させるなど、自家用車からの転換促進が求められます。